

○小樽市立病院経営強化プラン評価委員会設置要綱

制 定 令和6年3月19日病院局長決裁

(設置)

第1条 小樽市立病院経営強化プラン（以下「経営強化プラン」という。）の実施状況を客観的に評価するとともに、小樽市立病院の経営強化に係る事項について審議することを目的として、小樽市立病院経営強化プラン評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 毎年度の決算状況と合わせて経営強化プランの実施状況について点検、評価すること。
- (2) 小樽市立病院の経営強化に係る事項について審議すること。
- (3) 前2号の結果を病院事業管理者に報告すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員8名以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから病院事業管理者が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 市内各種団体の代表者
- (3) 公募市民
- (4) その他病院事業管理者が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、病院事業管理者が委嘱し、又は任命した日から経営強化プランの対象期間の最終年度に係る実施状況の評価等の結果を病院事業管理者に報告する日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長をそれぞれ1名置く。

- 2 委員長は委員の互選とし、副委員長は委員長が指名する。
- 3 委員長は会務を総理し、委員会を代表する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下単に「会議」という。）は、委員長が招集する。

- 2 委員長は、会議の議長となる。
- 3 会議は、委員（議長である委員長を含む。次項において同じ）の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。
- 5 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見又は説明を求めることができる。
- 6 会議は、公開とする。ただし、委員長が必要と認めるときは、委員の過半数の同意により会議を非公開とすることができる。
- 7 委員長は、緊急を要し、又はやむを得ない事情があると認めるときは、委員の同意を得た上で、会議の開催に代え、委員に対し、書面により意見を求めることができる。
- 8 会議の傍聴に関しては、小樽市議会傍聴規則（昭和34年小樽市議会規則第2号）の例による。

(費用弁償)

第7条 委員又は委員以外の者が会議に出席したときは、予算の範囲内において小樽市報酬、費用弁償及び実費弁償条例（昭和46年条例第26号）の例による報償を支給することができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、病院局事務部において行う。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って

定める。

附 則

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。